

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

【事務及び事業等の名称】(2) 社会教育行政の主要施策

①生涯にわたる社会教育活動の充実 指導体制の確立

【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】

■事業の概要

村民が地域の生活の中で自己の充実や生活の向上のため、自らが選択した学習課題を自己に適した手段・方法で生涯を通じて学び続けるという生涯学習の推進を図るため、推進体制を整備しながら多様な学習情報・学習機会を提供する。

■実施状況

1 推進体制の整備

(1) 審議会及び推進組織状況

生涯学習推進組織名	員数	会議の開催等	備考
生涯学習推進協議会	15	5月10日・12月14日	社会教育委員兼務
社会教育委員会議	15	5月10日・12月14日	
青少年問題協議会	15	5月10日	
文化財調査委員	5	6月17日・8月10日・ 12月20日	

※「青少年指導員」は廃止。

(2) 主な事業活動

事業名	事業の概要	期日等	参加対象等
生涯学習だよりの掲載	広報くのへに毎月「生涯学習だより」を掲載した。	年間	村民
生涯学習・保健ガイドの発行	生涯学習関連行事、講座案内等のほか村内各機関・団体の行事予定をまとめた「生涯学習・保健ガイド」を全世帯、事業所等に配布した。	年4回	村民 関係機関 団体

■成果と課題

- ・各種会議の協議内容を関連させるように配慮したため、青少年問題対策は連動した内容により協議を深めることができた。
- ・全世帯に配布した「生涯学習・保健ガイド」により、村民への生涯学習への関心を深めることと各種講座に参画・参加する資料となっている。
- ・各種会議では、毎年度繰り返す内容と生涯学習の環境整備や村民のニーズに応じた内容となるよう工夫していきたい。

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

- 【事務及び事業等の名称】(2) 社会教育行政の主要施策
② 生涯にわたる社会教育活動の充実 指導体制の確立
教育振興運動

【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】

■事業の概要

岩手県独自の教育運動で、九戸村では全小学校、中学校、伊保内高等学校、幼保施設毎に計10実践区を設けて教育振興運動を実践している。子ども、教師、保護者、地域社会、教育行政5者が一体となった活動を展開し、児童・生徒の健全な成長を促す。

■実施状況

- ・令和3. 4. 21 第1回事務局会議 総会提出議案検討
- ・令和3. 5. 12 令和3年度総会 事業報告と事業計画

<協議事項>

- 1 令和2年度九戸村教育振興運動推進協議会推進状況
- 2 令和3年度九戸村教育振興運動推進方針及び計画
- 3 九戸村教育振興運動推進協議会規約の一部改正について
- 4 役員の選出

以上の各事項については、提案に満場一致で承認を得た。

<研修会>

講師に二戸市立石切所小学校 校長 片野正喜 氏をお迎えし、「「地域と共にある学校へ」～コミュニティ・スクール移行への取り組み～」と題してコミュニティ・スクールへの移行や、移行後の活動内容について、事例を交えて講演いただいた。

- ・令和3. 12. 1 第2回事務局会議 集約集会内容検討
- ・令和4. 1. 28 第3回事務局会議 コロナ禍のため、中止とした。
- ・令和4. 1. 30 九戸村教育振興運動集約集会・九戸村 PTA 研究大会の開催予定であったが、コロナ禍のため書面開催として、関係者に資料を送付した。

<送付資料>

- 1 主催者代表あいさつ
- 2 教育振興運動並びにPTAの功労者表彰の紹介
- 3 実践区活動報告（戸田小学校、九戸中学校）
- 4 九戸村のコミュニティ・スクール

■成果と課題

令和3年度は、コロナ禍のため活動が制限させられ、計画の変更のみならず中止となることが多く、活動しにくいことが多かった。しかし、九戸村の将来を担う子供たちの健全育成に関係者が連携しながらの当活動は不可欠である。

(成果)

本村の教育振興運動は県下でもあまり多くない、幼保・小中高が組織されている。

小さな自治体の優位を生かして、望ましい活動ができている。

父母のほかに祖父母、地域住民が協力し合い、「地域の子どもを地域で育てる」土壌ができてきている。

(課題)

コミュニティ・スクールの構築が求められていることから、教育振興運動との関係をどのように進めていくか、調整が求められている。

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

【事務及び事業等の名称】(2) 社会教育行政の主要施策

③ 生涯にわたる社会教育活動の充実 家庭教育の充実
家庭教育学級

【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】

■事業の概要

幼児期から少年期における家庭教育は、他の時期において代えがたい大切な役割を持つものであることから、親として学習する機会を設け、家庭教育に関する力量を大いに高め、子どもの健やかな成長につなげるため家庭教育学級を開設する。

■実施状況

家庭教育学級の円滑な事業推進のため、主事会議を開催した。

- ・令和3年4月21日 第1回会議 実施状況と開設について

各団体の家庭教育学級の主な実施内容は下記のとおりである。

学級名	主な実施内容
伊保内小学校家庭教育学級	・未実施
長興寺小学校家庭教育学級	・親子体操教室
戸田小学校家庭教育学級	・落語の会
山根小学校家庭教育学級	・親子田植え体験・串餅作り体験・親子稲刈り体験 ・スマホ・ケータイ安全教室・お茶会・豆腐作り体験
江刺家小学校家庭教育学級	・未実施
中学生を持つ親の学級	・未実施
幼児を持つ親の学級	戸田保育園 ・親子レク
	伊保内保育園 ・親子運動遊び
	ひめはたるこども園 ・親子お楽しみ会・花火大会

■成果と課題

- ・新型コロナウイルス禍のため3学級が未実施となったが、各家庭教育学級とも会員の必要性に応じ工夫された内容により事業を展開し、親同士のつながりや家庭での在り方等について研修を深めることができた。
- ・家庭教育学級の目的に照らし合わせ事業内容を見直しながら、今日の教育課題について見聞を広げたり深めたりする内容を検討していきたい。

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

【事務及び事業等の名称】(2) 社会教育行政の主要施策

- ④ 各時期における社会活動の充実 青少年の健全育成
放課後子ども教室

【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】

■事業の概要

放課後や週末に小学校などを活用し、地域の方々が指導者やボランティアとして参加して、子どもたちがスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動を行うため、放課後子ども教室を開設する。

■実施状況

1 開設教室・開設日数・利用人数等

開設教室名	開設日数	延べ利用人数	1日平均利用人数
つくし教室(戸田小)	163日	延べ 2,831人	17.4人
ふれあい教室(山根小)	172日	延べ 1,931人	11.2人
いちょう教室(長興寺小)	172日	延べ 4,389人	25.5人
おりつめ教室(江刺家小)	170日	延べ 5,397人	31.7人

※ 年間利用児童延べ人数 14,548人

2 開設時間

各教室とも午後2時30分から午後4時30分までの2時間

3 安全管理員の配置

各教室2名配置、つくし教室とおりつめ教室のみ3名体制。

4 参考 (住民生活課所管事業)

開設学童保育	開設日数	延べ利用人数	1日平均利用人数
九戸村学童クラブ(伊保内小)	290日	7,768人	26.8人

■成果と課題

- ・安全管理員が見守る中で、子どもたちは、スポーツや文化活動、授業の予習や復習など学習活動に取り組み、有意義な放課後の暮らしができているが、コロナ禍により地域との交流活動(老人クラブとの昔遊び等)を実施出来ない状況である。次年度は安全対策及び参加者の意向を確認した上で実施したい。
- ・関係機関と連携して「新・放課後子ども総合プラン」に基づいて、放課後の子どもたちの居場所作りと豊かな体験活動が行われるよう検討していきたい。

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

【事務及び事業等の名称】(2) 社会教育行政の主要施策

⑤ 各時期における社会教育活動の充実

青少年の健全育成 九戸村学校支援地域本部事業

【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】

■事業の概要

学校側の要望を受け、それに応えて協力してくれる地域のボランティアを確保することにより学校支援を行う。

■実施状況

(1) 対応内容

読書活動の推進 — 絵本の読み聞かせ

環境整備 — 学校周辺の除草

学習支援 — 書写指導

(2) 対応回数

読書活動の推進 — 絵本の読み聞かせ 17回

環境整備 — 学校周辺の除草 9回

学習支援 — 書写指導(毛筆・硬筆含む) 12回

■成果と課題

- ・各学校の要望を受け、授業補助、図書館整備、読み聞かせ、環境整備の補助を行った。
- ・読み聞かせ、授業補助、学校周辺の除草、草刈り等、各ボランティアの好意で十分学校支援になっていると考える。
- ・人材確保の面から学校からの要望に応じることができたものとそうでないものとあったが、効果がある事業となった。今後も、人材確保に苦慮されることが予想されるが、本事業を継続して行い、教職員が子どもたちに向き合う時間の確保など、学校教育活動を支援していきたい。
- ・昨年度まで実施してきた屋内活動「図書館整備」「家庭科裁縫補助」等が出来ていない状況。これはボランティアの新型コロナへの感染対策のためだと考えられる。次年度以降は感染対策を徹底した上で、安心してボランティア活動に参加出来るような環境を整えたい。

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

【事務及び事業等の名称】 (2) 社会教育行政の主要施策
 ⑥ 各時期における社会教育活動の充実
 青少年の健全育成 九戸村地域子ども読書会

【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】

■事業の概要

高校生ボランティアによる「宮沢賢治の童話」や「九戸村の民話」の手作り紙芝居、読み聞かせなど実施して、子どもたちの読書への関心を喚起するとともに、ボランティア活動の場及び異年齢間の交流の場とし、それぞれの社会性を育成する。

■実施状況

- (1) 実施予定日 令和4年1月7日(金) (第42回)
- (2) 高校生ボランティア 伊保内高等学校1～2年生
- (3) 内容 宮沢賢治作品等の読み聞かせをする。
- (4) 実施予定場所

実施場所	子ども会名	参加人数	伊 高 生徒数
泥の木集落センター	宇堂口、平内・妻の神	20	5
戸田老人福祉センター	戸田上・下、牛の馬場	21	5
山根小学校	山根小学校子ども会	13	5
九戸村山村開発センター	川向、荒谷	46	5
まさざね館	鹿島・二ツ家、伊保内上・下	24	5
南田コミュニティーセンター	南田・小倉	29	5
銀杏会館	長興寺小学校全子ども会	32	5
江刺家ふるさとセンター	江刺家小学校全子ども会	38	5
特別養護老人ホーム折爪荘	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から実施しない		
グループホームおりつめ			
おりつめの里			
合計		223	40

■成果と課題

- ・九戸村の特色ある教育的伝統行事として行われており、小学生及び高校生の参加者が読み聞かせの楽しさと伝統ある行事でつながっている意識を持っている。
- ・児童数・生徒数の減少にあった企画によって内容を充実させたい。

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

【事務及び事業等の名称】(2) 社会教育行政の主要施策
⑦ 各時期における社会教育活動の充実
青少年の健全育成 戸のまち交流事業

【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】

■事業の概要

生活体験や自然体験を通して、仲間づくりの方法や社会のルールを学ぶとともに、「戸の兄弟のまち」である六戸町と九戸村の子どもたちがキャンプやスキーを通じて交流を深める。

■実施状況

- 1 「戸の兄弟のまち交流事業」夏季交流キャンプ (六戸町教育委員会主催)
 - ・コロナ禍により中止。下記記載の代替事業についても、二戸保健所管内にて新型コロナウイルスが感染拡大している状況を鑑み、中止となった。
 - (1) 実施期日 令和3年8月3日(木)
 - (2) 実施場所 九戸村 B&G 海洋センター
 - (3) 参加対象 九戸村立小学校6年生児童
 - (4) 主な内容 いかだ・チーム旗作り、いかだレース
- 2 「九戸村スキー交流会」(九戸村教育委員会主催)
 - ・コロナ禍により中止。内容変更を行い、九曜塾のみの単独開催とした。
 - (1) 実施期日 令和4年1月29日(土)
 - (2) 実施場所 くのへスキー場
 - (3) 参加者 九戸村立小学校児童19名、保護者10名
 - (4) 主な内容 スキー滑走

■成果と課題

- ・平成6年から実施されている。「戸」のまちに生きる子どもたちの共通的・共感的な郷土愛づくりに貢献する事業として、今後も継続していきたい。

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

- 【事務及び事業等の名称】(2) 社会教育行政の主要施策
 ⑧ 各時期における社会活動の充実
 青少年の健全育成 九曜塾

【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】

■事業の概要

九曜塾では、土曜学習に代わる体験活動を実施し、「知・徳・体」のバランスのとれた子どもたちを育成する。九戸村の自然や文化、歴史にふれ、子どもたちの感性を刺激するような体験活動を行うことを目的に、村内の小学生を対象に実施する。

長期休業中には寺子屋九曜塾を開催し、意欲的に学習に取り組もうとする児童に学びの場を提供するとともに、学習の“つまずき”を個別に支援することにより、九戸村内児童の学力向上に資する。また、英語教室を特別に取り入れることにより、グローバルに適用した学習に寄与することを目的として実施する。

■実施状況

(1) 九曜塾

回	期 日	学 習 の 内 容	児童数
1	5/8 (土)	黒山の昔穴遺跡の学習 ～九戸村の原始・古代の歴史を学ぼう～ 講師：大畑英明氏（教育委員会生涯学習係長） 安全の見守り：山友会数名	36名 (内、保護者 2名)
2	6/12 (土)	木炭の学習（九戸村細屋） ～九戸村と岩手県の木炭のことを学ぼう～ 講師：七戸智広氏（七戸産業）	27名 (内、保護者 1名)
3	7/10 (土)	九戸の宝探し（雨堤の学習） ～睡蓮とモリアオガエルを見に行こう～ 講師：岩淵好生氏（九戸村山友会）	43名 (内、保護者 7名)
4	8/28 (土)	水の学習（九戸村の水源を学習） 講師：上村浩之氏（水道事業所長） 細川猛氏（産業育成課）	コロナ禍のため【中止】
5	9/4 (土)	世代間交流（グランドゴルフ） 生涯学習アカデミー、女性教室と合同開催	〃
6	10/9 (土)	秋の自然体験「キノコ採り」～九戸村の秋を楽しもう～ 講師：九戸村山友会	36名 (内、保護者 4名)
7	11/6 (土)	塩の道&郷土料理 ～九戸村の古道を歩いてみよう 講師：岩淵好生氏（他、九戸村山友会の方々） 講師：桂川祥子氏（他、九戸村食改善推進員協議会）	12名 (内、保護者 1名)
8	12/5 (土)	歴史の学習～戦国時代の遺構「館」を巡るフィールドワーク～ 講師：滝谷 博 氏	15名 (内、保護者 1名)
9	特別合同開催 1/29 (土)	戸のまちスキー交流会（六戸町との合同開催） 【交流会中止】（新型コロナウイルス感染拡大防止のため） 村内児童のみ「九曜塾スキー教室」開催	29名 (内、保護者 10名)
10	2/26 (土)	かんじき体験（伊保内「向山」）・閉講式 講師：村田勝義氏（九戸村山友会） 【中止】（新型コロナウイルス感染拡大防止のため）	コロナ禍のため【中止】

定期開催7回 合計 197人

(2) 寺子屋九曜塾

期 日	学 習 の 内 容	児 童 数
8月 (夏休期間中の二日間)	Genki English タイム」 & 「いきいき宿題タイム」・「創作活動」	コロナ禍のため【中止】
12/27、28 (冬休期間中の二日間)	「Genki English タイム」 & 「いきいき宿題タイム」・「創作活動：ちぎり絵、工作」 講師：マッケンジー夫妻 講師：宮沢まさ子氏・月花美雪氏	38名 (2日間延べ 人数 66名)

■成果と課題

(1) 九曜塾について

- ・土曜日や休日における体験学習として、今年度も村内での活動に限定して進めてみた。その結果、子ども達の九戸村への理解につなげることができたのではないかと考える。また、地域の人材、地域の教育力を生かすことができたと考える。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、中止となった開催月もあるが、来年度も引き続き九戸村の地域素材や人材を生かしながら、豊かな体験活動が行われるように進めていきたい。

(2) 寺子屋九曜塾について

- ・本年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、夏季は中止となった。冬季開催分より、昨年度までの課題（英語学習、宿題の時間の共通課題）となっていた低学年と高学年のグループ分けを実施した。

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

【事務及び事業等の名称】 (2) 社会教育行政の主要施策
 ⑨ 各時期における社会教育活動の充実
 女性教育 女性教室

【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】

■事業の概要

身近な生活に役立つ学習を基本に、村内女性の交流の場とするとともに、自らの資質を向上させながら社会参加への意欲を促進するために、講座を開設する。

■実施状況

1 開設講座等

日 時	講座名	内 容	場 所	講 師	人数
4月7日(水) 10:30~	プログラム開発委員会会議	プログラム検討	開発センター	教育委員会担当	12
5月19日(水) 13:30~	合同開講式 記念講演会	記念講演 第1部 DVD 視聴(平成28年度 アカデミー・女性教室 記録写真) 第2部 居合道の演武	HOZ ホール (公民館)	小笠原京子氏 (本村の元社会教育指導員)	30
6月9日(水) 13:30~	黒山の昔穴遺跡見学会	県指定史跡「黒山の昔穴遺跡」の見学	黒山の昔穴遺跡 (江刺家)	大畑英明氏 (生涯学習係長)	14
7月7日(水) 13:30~	<創作活動1> ガラス風鈴づくり	「岩手県立県北青少年の家」出前講座を活用しての創作活動「ガラス風鈴づくり」	開発センター 一大集会室	久光文彦氏 (岩手県立県北青少年の家)	16
8月31日(火) 10:00~	<創作活動2> つまみ細工	「岩手県立県北青少年の家」出前講座を活用しての創作活動「つまみ細工」	コロナ禍のため中止		
9月 4日(土) 9:30~	<世代間交流> グランドゴルフ	生涯学習アカデミー、九曜塾と合同開催			
10月19日(火) 9:30~	<調理体験> 郷土料理	郷土料理「ひきなそば、ふきご飯、惣菜三品」の調理を家庭にある素材を使って実施。	調理室	桂川祥子氏(食の匠) 上柿幸子氏()	13
11月17日(水) 13:30~	<創作活動3> クリスマスリース作り	「岩手県立県北青少年の家」出前講座を活用しての創作活動「クリスマスリースづくり」	体育センター	西山誌帆子氏 (岩手県立県北青少年の家)	16
12月15日(水) 13:30~	<合同講座1> 生きがい探し講演会	「住職の徒然草」と題し、住職のこれまでの体験を踏まえた講演。	HOZ ホール (公民館)	上村陸巳氏 (圓通寺住職)	61
1月13日(木) 13:30~	<合同講座2> 天体に関する講演会	「星座案内」と題し、冬空の見どころを、講演会の夜にでも見える星を中心に来場者へ案内。	HOZ ホール (公民館)	天沼正明氏 (江刺家小学校校長)	16
2月16日(水) 13:30~	<合同閉校式> 講演会	「ご存じですか 今の学校」と題し、村の将来を担う子供たちが今どのような教育を受けているのかを実技を交えて講演。	公民館 HOZ ホール	小林龍氏 (九戸村教育委員会 駐在指導主事)	20
延べ参加人数					198名

■成果と課題

○4月の「プログラム開発委員会会議」で承認された計画は、コロナ禍により8・9月は中止となった。その他の計画は予定どおり実施することができた。参加者のアンケートから、感染防止に努めながら講座に参加することを楽しみにしていることが分かる。

●昨年度までは年度初めに受講者を募っていたが、今年度から開催毎に受講者を募集するよう形態を変え、誰でも気軽に参加出来るようにした。開催講座の内容が影響している可能性もあるが、参加者平均を前年度と比較すると4名の増となったため、一定の効果はあると思われる。

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

- 【事務及び事業等の名称】 (2) 社会教育行政の主要施策
⑩ 各時期における社会教育活動の充実
女性教育 婦人団体

【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】

■事業の概要

女性の立場から現実の生活を改めて直視し、地域の問題を考え活力と笑顔あふれる村づくり実現のために、村内の女性団体が一堂に集まり学習し交流を深める。

■実施状況

1 参加団体

九戸村婦人団体連絡会

(JA 新いわて九戸地域女性部、九戸村生活改善グループ連絡研究会、九戸村商工会女性部、九戸村交通安全母の会連合会、九戸村地域婦人団体協議会)

2 実施内容

- ・九戸村婦人のつどい（講演会、ステージ発表等）は昨年度に引き続きコロナ禍のため中止。

■成果と課題

・地域・家庭の問題を女性の立場から考え、明るく住みよい村づくりにつながる交流会は中止となったが、今後も継続したい。各団体の組織強化が課題である。

・九戸村婦人団体連絡会は村内の女性団体の中で幹事団体を決めている。基本的には「1年毎の持ち回り」によるが、慣例では「九戸村婦人のつどい」の開催をもって次年度幹事団体へ引継ぐことともしているため、令和2年度の幹事団体が令和4年度まで幹事を引き受けている現状がある。

幹事団体への負担（講師への講演依頼 → 講師への中止連絡を繰り返し行っている等）から、活力減退の一因にもなりかねないと考えられるため、令和4年度は「開催時期の見直し」も含めた新型コロナ感染対策を実施した上で、「婦人のつどい」を開催出来るよう各種調整を図りたい。

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

【事務及び事業等の名称】 (2) 社会教育行政の主要施策

① 各時期における社会教育活動の充実 生涯学習アカデミー

【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】

■ 事業の概要

生涯を通じて学ぶことへの意欲に応え、これまでに積み重ねてきた知識と経験を生かしながら、積極的に社会参加をしていくための学習の機会として講座等を開催する。

■ 実施状況

1 開設講座等

日 時	講座名	内 容	場 所	講 師	人数
4月7日(水) 10:30~	プログラム開発委員会会議	プログラム検討	開発センター	教育委員会担当	12
5月19日(水) 13:30~	合同開講式 記念講演会	記念講演 第1部 DVD 視聴(平成28年度アカデミー・女性教室 記録写真) 第2部 居合道の演武	HOZ ホール (公民館)	小笠原京子氏 (本村の元社会教育指導員)	30
6月22日(火) 13:30~	再生可能エネルギー(太陽光発電)を学ぶ	軽米町ミレットパーク内の「ソーラー館」の見学。	ミレットパーク (軽米町)	福田浩司氏 (軽米町役場再生可能エネルギー推進室)	16
7月21日(水) 13:30~	<創作活動1> 万華鏡づくり	「岩手県立県北青少年の家」出前講座を活用し、創作活動「万華鏡づくり」を実施した。	コロナ禍のため、中止となったが、希望者へ代替事業として万華鏡づくりの教材販売の仲介を行った。	8	
8月11日(水) 10:00~	<運動体験> ポッチャ&卓球バレー	「岩手県立県北青少年の家」出前講座を活用し、運動体験「ポッチャ」と「卓球バレー」を体験した。	体育センター	菅野剛英氏 (岩手県立県北青少年の家)	7
9月4日(土) 9:30~	<世代間交流> グランドゴルフ	生涯学習アカデミー、九曜塾と合同開催	コロナ禍のため中止		
10月6日(火) 13:30~	<創作活動2> 「プラ板&缶バッジ」づくり	「岩手県立県北青少年の家」出前講座を活用し、創作活動「プラ板&缶バッジ」を実施した。	開発センター	久光文彦氏 (岩手県立県北青少年の家)	8
11月9日(火) 13:30~	<音楽観賞> 福田こうへいのDVD観賞	年度当初は毎年恒例の「カラオケ」を予定していたが、コロナ禍のため内容変更。上映したDVDは参加者からの希望によるもの。	HOZ ホール (公民館)	なし ※担当者が対応	16
12月15日(水) 13:30~	<合同講座1> 生きがい探し講演会	「住職の徒然草」と題し、住職のこれまでの体験を踏まえた講演。	HOZ ホール (公民館)	上村隆巳氏 (圓通寺住職)	61
1月13日(木) 13:30~	<合同講座2> 天体に関する講演会	「星座案内」と題し、冬空の見どころを、講演会の夜にでも見える星を中心に来場者へご案内。	HOZ ホール (公民館)	天沼正明氏 (江刺家小学校校長)	16
2月16日(水) 13:30~	<合同閉校式> 講演会	「ご存じですか 今の学校」と題し、村の将来を担う子供たちが今どのような教育を受けているのかを実技を交えて講演。	公民館 HOZ ホール	小林龍氏 (九戸村教育委員会 駐在指導主事)	20

延べ参加人数 194名

■ 成果と課題

今年度より「高齢者」の縛りを無くし「同じ趣味」の方などが世代を問わず交流できる機会となるよう「生涯学習アカデミー」として名称、募集方法を変更し、実施した。

上記の変更により、昨年度と比較すると参加人数の増とはならなかったが、これまで常連の方の参加が多い講座だったのが「新規の方」も参加しやすい講座へと変わった。

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

【事務及び事業等の名称】 (2) 社会教育行政の主要施策
⑫ 国際交流推進に向けた取り組みの充実
青少年海外派遣事業

【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】

■事業の概要

・国際感覚を持った将来を担う人材を育成するため、九戸村人材育成事業補助金を活用し、中高生を短期間イギリスの都市グラスゴーにある「カンバーノールド・アカデミー」に派遣し、相互交流を深め、国際的視野と国際協調の精神を図る。さらには、九戸村国際交流協会と連携し、英会話教室や外国文化触れる機会を作る。

■実施状況

- 1 青少年海外派遣事業
 - ・コロナ禍のため中止。

■成果と課題

・九戸村国際交流会事業は、青少年の国際理解教育を充実させると同時に、村民の国際感覚を磨くよい機会となっている。
・青少年海外派遣事業については、派遣先国の見直しや、コロナ禍でも開催可能な交流方法について検討する必要がある。